

# 鐘の音

kane-no-ne

パートナーシップさいたま  
(さいたま市男女共同参画推進センター)

広報誌

vol.23

2011.3発行



▲パパたちが、毛塚智之シェフ（パレスホテル大宮洋食レストラン統括料理長）のご指導のもと、本格的なフランス料理に挑戦！  
(男性カレッジ2010 12/18開催「パパクッキングは、家族の輪！」より)

<b>特集</b> もっと自分らしく もっと輝いて.....	2
～平成23年度 講座・講演会予定～	
●Pick up 平成23年度のおすすめセミナー .....	3
● <sup>ひとひと</sup> 女と男 共に輝く 社会めざして .....	3
●それって、安心な恋愛ですか？ ～DVを未然に防ぐために～ .....	4
●ただいま活動中 「LA CUCINA PICCOLA」 .....	4
●女性の悩み相談 相談室から .....	5
●コ・ラ・ム 数字 .....	5
●Book Navi 図書のご案内 .....	5
●施設・相談のご案内／ほっとたいむ .....	6

# もっと自分らしく もっと輝いて

## パートナーシップさいたま

### 平成23年度 講座・講演会予定

刻々と変化し続ける社会の中で、  
もっと自分らしく輝いて生きるヒントを、  
パートナーシップさいたままで共に見つけませんか

講座名	内容	実施時期・回数	会場	対象
快適に働き続けるためのハラスメント対策セミナー	働く人の人権を傷つけるパワー・ハラスメントやセクシュアル・ハラスメントに負けないためのスキルを学び、快適に働き続けるための力を身につけます。	4月 2回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤の 男女
働きたいあなたのための再就職準備セミナー	厳しい雇用環境にある女性の求職者を対象に、就業意識の高揚や職務経験などに応じた適切な職業選択の支援などを行います。	5月・11月 各2回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・ 在学の女性
男女共同参画週間 記念事業 シネマ&トーク	話題の映画を鑑賞し、女性監督のトークとともに、男女共同参画の視点からどのような可能性が開けてくるのかを考えます。	7月 1回	与野本町コミュニ ティセンター	市内在住・在勤・ 在学の男女
女性カレッジ2011 -コミュニケーションカ アップ講座	自己表現の方法、コミュニケーションスキルをつけることによって他者とのよりよい関係作り、社会参加、チャレンジを支援します。	【前期】6月～7月 5回 【後期】9月～10月 5回 全10回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・ 在学の女性
夏休みのおもしろ 科学実験	小・中学生の子どもを中心に、親子で参加する夏休みのおもしろ科学実験を通して、理工系を目指す女子を応援します。	8月 3回	パートナーシップ さいたま	市内の小中学校に通う子どもとその親
男女共同参画の視点から国際交流を考える	フィリピンの「バナナ」とバングラデシュなどの「手工芸品」を切り口に、国際交流で育まれるアジアの女性たちの自立と子育て支援を学びます。	9月 3回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・ 在学の男女
トレンド社会学	「男だから・女だから」の枠にとらわれない自分らしく輝く生き方を、今日の話題を通して考えます。	10月 1回	未定	市内在住・在勤・ 在学の男女
男性カレッジ2011 -カジメン塾/ イクメン塾	今、家事をする男性「カジメン」／育児をする男性「イクメン」が熱い！ 家族がよりハッピーになるために、父親を応援します。	10～11月 【カジメン塾】2回 【イクメン塾】2回	プラザイースト (女・男プラザ)	市内在住・在勤・ 在学の男性
DV防止セミナー	DVをなくすための理解とサポートを進め、性の尊重と女性に対するあらゆる暴力の根絶を図ります。	11月 1回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・ 在学の男女
人生塾	カメラを通して見る「仕事と暮らし、家庭の笑顔」をテーマに、より良いワーク・ライフ・バランスを考えます。	11月～12月 4回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤の 男女
ワーク・ライフ・ バランス 先進取組事例	仕事と生活の両立に向けて、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを推進するため、先進的な取組事例を紹介します。	1月～2月 3回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤の 男女

※このほかにも講座を企画しています。詳細につきましては、市報さいたま、ホームページなどで逐次お知らせします。

Pick up

# 平成23年度のおすすめセミナー

## 快適に働き続けるための

### ハラスメント対策セミナー

働く人の人権を傷つけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント、モラル・ハラスメントなどの、嫌がらせ行為。それらの行為に負けないためのスキルを学び、快適に働き続けるための力を身に付けませんか。

回	日時	テーマ	講師
1	4/20(水) 19時～21時	「職場のセクハラ」 セクハラについての 基本的な理解	臨床心理士 真下 りかさん
2	4/27(水) 19時～21時	パワハラ対策セミナー	日本弁護士連合会犯罪 被害者支援委員会委員 横山 佳純さん

\* 4/4(月)から受付を開始します。

詳しくはチラシ、パートナーシップさいたまホームページをご覧ください。

## 働きたいあなたのための

### 再就職準備セミナー

女性の再チャレンジ支援として、パートで働きたい方の就労につながるよう、面接時の注意点や履歴書、職務経歴書の書き方などをレクチャーします。非正規雇用や女性の貧困問題を踏まえたパートタイム労働法も学びます。

回	日時	テーマ	講師
1	5/24(火) 10時～12時	知らなきヤソンソン パートタイム労働法	埼玉労働局 雇用均等室職員
2	5/31(火) 10時～12時	パートで働く心構え 応募から就労時までの 注意点	NPO 法人キャリア プラザ埼玉 鮎川 和子さん

\* 5/6(金)から受付を開始します。

また、11月にも同内容で開催する予定です。

\*ハローワークの就職活動の一環となります。

# ひとひと 女と男 共に輝く 社会めざして

## ～ 第10回 「女・男フェスタさいたま」を開催しました ～

- 期 日** 平成23年1月29日(土)・30日(日)
- 会 場** シーノ大宮センタープラザ 9階・10階
- 内 容**
  - さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会の加盟団体による展示・ワークショップ・ステージ発表
  - 講演会「仕事も、子育て・介護も共に支えあう社会へ」  
(講師 さいたま市男女共同参画推進協議会 会長 矢澤 澄子さん)
  - 上映会「ただいま それぞれの居場所 ～介護の『春』もう、そこまできています。～」



▲団体が趣向を凝らした様々なステージを披露しました

### 「鐘の音」編集員も参加しました

2日間、各団体による展示、ワークショップ、ステージ発表で大いに盛り上がりました。私は29日のみの参加でしたが、ボカボカの陽が差す昼下がり、アトラクションでは千葉純子さんの演奏するバイオリンでゆったりと豊かな気持ちになりました。アンコールでは「ふるさと」の合唱で会場がひとつになる素敵なコンサートでした。

矢澤澄子さんの講演では「スタートライン」というビデオが流され、仕事100%の夫たちが、妻に背中を押されて子育てや地域活動に参加していく姿が印象的でした。「男が気付くためには、人間としての生きる力がある女性の力が必要だと思う」という言葉に共感しました。子育て期を夫婦で力を合わせて乗り切れば、介護もお互いが当事者として協力していけるのかもしれません。

私の親世代の参加者が目立ちましたが、こうした長年の活動のおかげで受けている恩恵に感謝しつつ、次世代の私たちが引き継いで、より暮らしやすい社会にしていかなければと感じました。

(石塚 寿美恵)

# それって、安心な恋愛ですか？

～ DV を未然に防ぐために～

さいたま市は、「第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン」において、「女性に対するあらゆる暴力の根絶と被害者の自立支援」を重点事項の一つに掲げています。

その取組の一環として、DV（配偶者等からの暴力）、デートDV（若年層における交際相手からの暴力）の啓発・防止のため、湘南DVサポートセンター代表 瀧田信之さんを講師にお迎えし、昨年11月に2つの講演会を実施しました。

## 11/7 DV 防止講演会 浦和コミュニティセンター

それって、安心な恋愛ですか？  
～あなたが“あなたらしく”いるために～

交際相手から、このような行為をされたことはないでしょうか。一つでもチェックが付けば、それはもしかしたら、恋愛の形を借りたDVかもしれません。実は、DVはとても身近にあります。

- 肉体的に乱暴する
- 問題のすべてをあなたのせいにする
- 服装や趣味を押し付ける
- 感情の起伏が激しく、機嫌が良かった次の瞬間、激怒する
- 望まないセックスを強要する
- 携帯電話をチェックする

DVには①身体的暴力、②心理的暴力、③性的暴力、④脅迫及び威嚇行為、⑤所有物の破壊、⑥社会的及び物理的監視・孤立化、⑦経済的抑圧と、7種類もの暴力があります。加害者は、暴力によって被害者を服従させ、支配するのです。

加害者の特徴としては、表面上は「よい人」である、女性蔑視など男尊女卑のような考え方をする、生育環境において虐待の経験があるなどが挙げられます。

もしDVを受けている人が身近にいたら、「なぜそんな人と一緒にいるのか」などと、被害者を責めるようなことを絶対に言うてはなりません。「あなたの言うことを信じています」と、被害者の立場を認めるようなメッセージを伝えてください。

DVの被害者にならないために大事なものは、自尊感情を大切にすること、自分の気持ちや意見をうまく伝えることです。

## 11/25 デートDV 防止出前講座 市立浦和南高等学校

安心できる人間関係  
～デートDVバイオレンスを防ぐために～



▲生徒との寸劇を交えたデートDV防止出前講座

パートナーシップさいたままでは、他会場に出向き、講座を行う「出前講座」を実施しています。今回はさいたま市立浦和南高等学校において、全校生徒を対象にデートDV防止のための講座を行いました。

講師の瀧田さんは生徒との寸劇（ロールプレイ）を交えるなどしながら、誰もがデートDVの加害者になり得る、「携帯を見せる」と強要するのデートDVになると、非常に身近にある暴力だということが実感できるお話をされました。

**【生徒の感想】**.....  
 ・私も自尊心を持って生きていきたいと思いました。  
 ・相手のことが好きでも、嫌だとかおかしいと思ったことは、相手に伝えたり、周りの人に相談したりすることが大切だと思いました。

地域マンマが増え、地域マンマを頼られる若いマンマが増えること、そして小さな台所の扉がたくさん増えることは、とても素敵なことだと私たちは考えます。

毎年の女・男フェスタさいたままでは、小さな台所で話題になったことをもとに発表しています。

PICCOLA  
代表 古賀 宏子

▲女・男フェスタさいたまの展示

ただいま活動中  
**「LA CUCINA PICCOLA」**  
 (ら・くちーな・びっころ)  
 男女共同参画を目的に活躍しているグループを紹介します

LA CUCINA PICCOLA(ら・くちーな・びっころ)は、イタリア語で「小さな台所」という意味です。「私の小さな台所を、子育て中のお母さん(マンマ)たちのサロンとして開放する」のが、ら・くちーな・びっころの活動です。

私が「できる」時間だけ、「できる」だけな考えから始まった集まりです。子育て中のお母さんに、まずは「おしゃべりする場所を提供する」子育て支援です。

ら・くちーな・びっころの活動は公民館などの公共施設を利用して行うのではなく、自宅を開放する形式です。これにより、借りる手間が省け、その上、台所の数だけよりたくさんの子育て支援の場が地域内に生まれるのです。



## 女性の悩み相談 相談室から

### 女性の『自律』とは

DV(ドメスティック・バイオレンス)、デートDV、性犯罪、パワー・ハラスメント、ストーカー行為。暴力は性別や国籍を問わず決して許されるものではありません。

日々たくさんの電話相談を通して女性の人としての生きづらさを痛感し、その思いに強く共感します。そのような中で女性の『自律』とは何だろうと考えています。「じりつ」というと、経済的自立だけが先行しますが、まず一人ひとりが個人として存在することを認め合うこと。ありのままの自分を尊重し、物事を自分の意思で判断し、自己決定していくこと。そして決めたことに責任を持つことが大切だと感じます。

女性は他者を多様性の中で理解し、助け合うしなやかな強さを持っていると思います。自分の自由を認め、相手の自由を保障していく「ちから」を毎日の暮らしの中で創り出していきましょう。今まで女性が担ってきた、家事、育児、介護といった無償労働(アンペイド・ワーク)が正当に評価される社会は、女性にとっても男性にとっても安心であたたかで居心地の良い社会だと思います。(婦人相談員K)

\*女性の生き方、家庭内のトラブル、DV、職場の人間関係などに悩んでいる方、パートナーシップさいたまの「女性の悩み電話相談」にお電話ください。お待ちしております。



# 59.7%

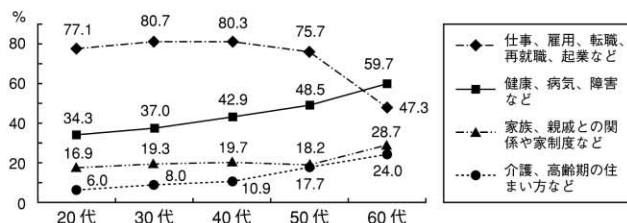
この数字は、「この1年間に健康、病気、障害などの悩みがあった」と答えた60代男性の割合です(平成22年8月)。

内閣府男女共同参画局が行った「地域における相談ニーズに関する調査」によると、男性は50代までは「仕事など」の悩みが大きいです。60代になると「健康」の方が大きくなります。また、「家族」、「介護」の割合も高くなっています(グラフ参照)。

このことから男性は、定年・退職期を迎える60代になり、自分や家族の問題に直面するようになることがうかがえます。

パートナーシップさいたまでは、自分や社会を見直す機会を提供するため、様々な講座・講演会を実施しています(平成23年度の予定についてはP.2特集参照)。より心豊かに生きていくヒントを見つけてみませんか。

この1年間にあった悩み<男性>(複数回答)



平成22年8月「地域における相談ニーズに関する調査」より  
(内閣府男女共同参画局)

## BookNavi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

### 『男はつらいらしい』

奥田 祥子：著 2007年 <新潮社>

「でしようね～」とタイトルを見て最初に思いました。強く・たくましく・弱音を吐かない…「男はこうあるべき」という昔ながらの考えに強く囚われている男性のなんと多いことか。

プライドがあるから、女性に冷たくされて傷つきたくない、と積極的になれない「結婚できない男たち」、加齢とともに男性ホルモンが低下し、中高年期には女性と同じような症状が現れる「更年期の男たち」、つらさや苦しみを自分で背負い込み、独りで解決しなければならないと思ってきたが、自分の悩みをうちあけ始めた「相談する男たち」、より良き父親になりたいと熱望し、仕事と育児の狭間で葛藤している「父親に『なりたい』男たち」と4章にわたって書かれています。

男性の役割として当たり前とされていること(家族を養うなど)を、男女で分かち合えれば、それぞれが自分らしく生きていけるのかもしれませんが。(石塚 寿美恵)

### 『アフガニスタン母子診療所』

梶原 容子：著 2008年 <白水社>

これは女性産婦人科医師がアフガニスタンで数年間診療活動を行った体験記です。厳寒・酷暑の砂漠氣候に加え、着任した日の研修は地雷と本人確認の暗号の研修という治安劣悪の中で、快活に勤務を遂行した様子がユーモアを交えて語られています。

イスラム教国では女性は家庭内で生活するのが原則、学校教育もなかなか受けられません。診察を受ける時も女性医師・看護婦に限られます。著者は電気・水・薬品など全て不十分な中で診察・治療を進めていきます。男女の現地スタッフを教えながら“帝王切開”の手術を成功させた様子は感動的でした。しだいに現地の人々の強い信頼を得ていきます。

現地女性も差別の厳しい生活の中で、たくましく意欲的に医療技術を学び女性と子どもの命を助ける力に成長していきます。ヴェールを被ったイスラム圏女性の底力を垣間見る事ができました。(卜部 喜子)

施設のご案内

	<b>パートナーシップ さいたま</b>	<b>ひとひと 女・男プラザ</b>
場所	大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ 3階	緑区中尾 1440-8 プラザイースト 3階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館 時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館 日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始
施設の利用	男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。 (パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと 女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)	
情報・資料コーナー、交流コーナー	本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。 閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用 できる交流コーナーもあります。	
お問い合わせ	<b>048-642-8107</b>	<b>048-875-9966</b>

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-643-5813
月～金 / 10:00～20:00 土・日・祝 / 10:00～16:00	
ひとひと 女・男プラザ	☎048-875-9653
金 / 10:00～17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金 / 10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
月・水 / 10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水 / 10:00～17:00	

●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-642-8107
第2・第4水曜日 / 13:00～15:30	
ひとひと 女・男プラザ	☎048-875-9966
第1・第3火曜日 / 13:00～15:30	

●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-642-8107
第4金曜日 / 13:30～16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

花に学ぶ  
厳しい寒さもいつの間にか去り、ひな菊・さくら草・キンセンカ・ヒヤシンスなどの花々が心をわくわくさせてくれる嬉しい季節になった。そのひとつ、チューリップの花を毎年楽しむには、花が終わり葉が枯れ晴れの日が続いた時に球根を掘り出し、秋に再び植えるが良い。そうしないと自分の球根の周りに小さな球根をたくさん作り、親も子も全てが小さくなりそのうち花が咲かなくなってしまう。子育ても子どもが経済的・精神的に自立することが大切。会社の組織も周りを気の合った仲間と固めると、全てが小さくなってしまふ。そこそこに育った球根は外に出す勇氣と太陽の光のような愛情を注ぐバランスが大切。花に教わることはまだまだ有りです。

(五十嵐 茂樹)

ほっとたいむ  
春、我が家の子どもも入学・入園を迎えます。新しい出会いの季節、親子共々新たな気持ちで前進していこうと思えます。以前は、夫の転勤による引越で、その土地に慣れることに一生懸命でした。そして、さいたま市在住が一番長くなり、一年前から編集員として参加できるようなったことを、うれしく思っています。  
会議では、原稿を丁寧に推敲し、校正して仕上げていくので、学ぶ所もたくさんあります。皆様に読んでいただけるよう、字数内でわかりやすい文章を書くことは難しいですが、自分らしく社会とつながり、編集員メンバー・センター職員の方々とお話したことを大切に、これらの任期も過ぎていききたいです。

(秋山 典子)



広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。  
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで  
お願いします。

《誌名「鐘の音」》

大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.23 2011年3月25日発行

<編集・発行>

さいたま市男女共同参画推進センター(愛称 パートナーシップさいたま)

編集員 / 秋山典子・五十嵐茂樹・石塚寿美恵・ト部喜子・鈴木 猛

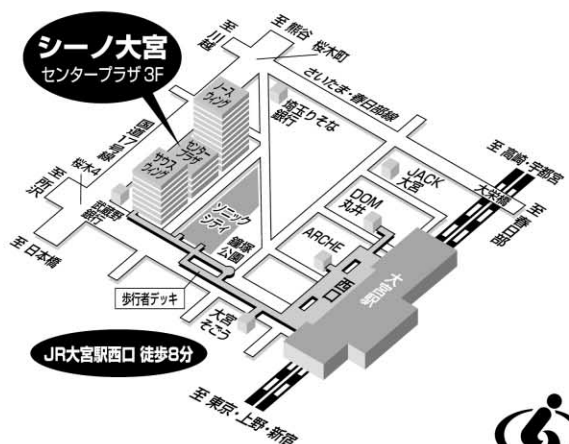
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階

電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801

E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

7・11・3月発行(年3回)

この広報誌は4,300部作成し、1部当たりの印刷経費は18円です。



シーノ大宮  
センタープラザ3F

JR大宮駅西口 徒歩8分



自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。